



vol.192

令和8年2月1日発行

なごか

# 社協だより



## 〈主な内容〉

- P 2 社協ふくし塾 Part 6  
長岡市地域ささえあい事業ってなに？
- P 4 まちのお宝発見隊！ 和島地区・新町地区
- P 6 とともに生きる福祉のまちづくり～福祉教育の取り組み～
- P 8 親亡き後を考える 未来へ手渡す、安心と希望
- P 10 ボラセンだより

赤い羽根共同募金

×

新潟アルビレックスBB

12月13日、14日にアオーレ長岡にて開催された新潟アルビレックスBBの年内最後のホーム戦で募金活動を実施しました。



“なごか社協”の日常の様子はHPにて随時更新しています。



この社協だよりは、赤い羽根共同募金配分金で発行しています。



長岡市社会福祉協議会  
イメージキャラクター  
トモるんちゃん

## 困ったときは支え合う地域にしたいから

長岡市地域ささえあい事業は、日常生活のちょっとした困りごとに、「お互いさま」の支え合い活動を通して地域づくりを進めていく事業です。

POINT!  
01



老若男女問わず「お互いさま」で成り立つ支え合いの活動です

POINT!  
02



ちょっとした困りごとができる範囲でのお手伝い

POINT!  
03



この活動を通じて地域との絆を育んでいきます

日頃の家族や地域の支え合いをサポートする活動なんだ！



### 利用したい・協力したい

【利用者】 長岡市内在住の日常生活に支障があり、お手伝いを必要とする高齢者や障害者、子育て世帯等

【協力者】 この事業に理解を持って、協力してくださる方

※利用者が車に同乗する活動の場合

- ① 74歳以下の健康な方
- ② 2年以上運転免許停止処分を受けていない方

### 活動内容

専門的な技術を必要としない、日常生活のお手伝い

衣類の洗濯、調理、住居等の掃除・整理、生活必需品の買い物、ゴミ出し、軽易な雪かき、通院・外出時の付き添い、車による送り届け、話し相手 など

### 活動時間

利用者の希望時間と協力者の活動可能な時間等をもとに、決定します

### 利用負担

1回につき30分未満 250円

30分以上1時間未満 500円 (以降、30分ごとに250円加算)

※利用者宅から協力者の車を使って活動を行う場合、利用者の乗車の有無に関わらず、「利用者宅から活動先までの往路復路」の燃料費 (20円/Km) を負担いただきます

### 協力者への謝礼

以下、①・②のうちどちらかを選択

① 謝金の口座振込

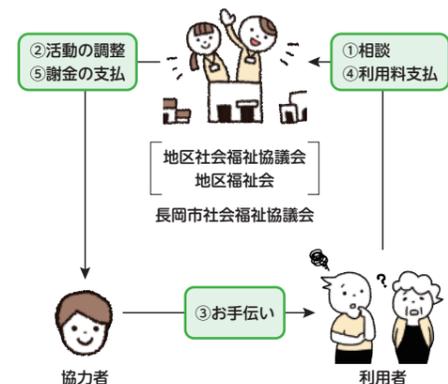
利用料金と同額分の謝金を活動の翌年度の5月中旬に一括振込

② 長岡市デジタル地域通貨 (ながおかペイ) のポイント付与  
利用料金と同額分のポイントを活動翌月の末日に付与

※1ポイント=1円



### 活動の流れ



## あなたも地域の誰かの助っ人に

活動を通して新しい仲間ができたり、地域のことを知れたり、あなたのちょっとした時間が、地域の大きな力になります。

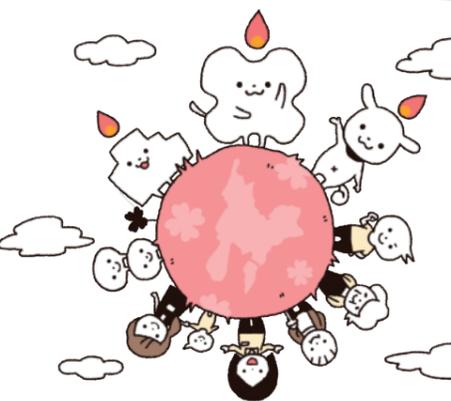
初めてでも大丈夫。できることや興味のあることで、誰かの「ふだんのくらしのしあわせ」に手を貸してくださいませんか？

### PICK UP!!

## あたたかいやりとりがあるのがこの活動の魅力です。

地域のイベントで栃尾の公共施設に行った時に、「ボランティア通信」がふと目に入り、その中でもこの活動に興味を持ち、連絡をしました。

昔から高齢者が好きで、今は高齢者の買い物のお手伝いを月に1回行っています。活動時に本人にお預かりしたポーチの中に「ありがとう」スタンプが押してある紙を見つけて、胸がほっこりしてうれしくなりました。



協力者  
宍戸 由紀さん 令和7年6月に登録



## Q&A 協力者になるための不安を解決

### Q1 協力者の条件や活動頻度は？

年齢や経験に関係なく、誰でも登録できます。登録時に協力できる頻度や希望の活動内容等を丁寧にお聞きし、無理のない範囲で活動を調整します。

### Q2 活動時の事故が心配なんだけど。

長岡市社会福祉協議会で、協力者や利用者に対して各種保険に加入します。

また、協力者が車を使って活動している際に、車の修理を要する事故に遭った場合は、独自の見舞金制度があります。

### 問い合わせ

地域福祉課 TEL: 33-6000

まずは一步を踏み出してみてね！





Part.24  
和島地区

まちのお宝発見隊!

ともにつくるかだん、和島地域を共生のまちへ

社会福祉法人 長岡三古老人福祉会 地域密着型複合施設わしま地域共生委員会  
しまでは花壇づくりを起点とした共生社会の実現に向けた活動を行っています。

令和7年6月、地域密着型複合施設わしま地域共生委員会  
が「第36回『みどりの愛護』 功労者国土交通大臣表彰」を受賞しました。花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体に対してその功績をたたえ、国民的運動としての緑化推進活

Part.25  
新町地区

地域福祉懇談会  
精神障害について理解を深める

11月19日に、新町コミュニティセンター分室にて地域福祉懇談会が開かれ18人が参加しました。  
「やさしいまち 新町」精神障害について理解を深めよう」をテーマとして、当日は、希望の会福祉会に協力いただき、ピアサポーターによる体験談をお聞きしました。参加者同士、感想を共有し、これからの地域づくりについて意見を交わしました。

※ピアサポーターとは  
精神的な困難や病気を経験した当事者が、自らの体験を活かして、同じような悩みを持つ人を支援する役割を担っている方です。



グループに分かれてたくさんの意見が聞かれました

動の模範として表彰するものです。  
「ともにつくるかだん」は今年で3年目。「共生の道」と名付けられた道路沿いの手作り花壇で和島小学校の児童、和島こども園の園児らと一緒に花植えを行っています。また、プランターにも花を植えて、小島谷駅や郵便局、長岡市和島支所、和島体育館、長岡市社会福祉協議会和島支所等にも設置しています。プランターには「和島地域を共生のまちへ」のメッセージを入れており、和島地域全体が花を通じて地域共生のまちとなることを目指しています。



直接的な「人と人」の交流はできなくても花や作品を通じた「モノを通じた心かよいあう交流」を大切にしています!

花以外にも、施設内の畑では季節に合わせて野菜やお米の栽培もしています。栽培を通じて時間の経過と変化を感じること、社会参加の手段とすることによって認知症ケアの実践にもなります。  
作った野菜は和島地区内の施設、学校等に寄付をしたり、直売所に出荷します。袋詰めや店頭に並べる作業をしながら「次は何をつくらうか」「もうちょっと売れるようにするにはどうしようか」と話しをするのが利用者や職員の方にとっても楽しみになっています。



**地域福祉懇談会とは?**  
地域住民や町内会の役員、民生委員等、関係機関が地域課題の把握やその課題の解決方法を話し合い、より良い地域づくりについて住民主体で考える場です。  
それぞれの地域の状況に合わせて開催されています。

**参加者の声**  
・精神障害は誰もがなりうる病気、早い段階で気づいて相談することが大切と学ぶことができた。  
・他人事ではなく、身近な問題だと感じた。  
・医療だけでなく、仲間や支援者との関わりが大事だと感じました。  
・当事者の方から話を聞けることは貴重なこと、精神障害について考え方が変わった。

**発表者にききました**  
●ピアサポーターになった経緯  
仕事を休職していた時期に、障害者の通いの場である地域活動支援センターふあーれを知り、利用を始めました。そこで多くの仲間に出会い、居心地のいい居場所ができました。それからふあーれに恩返しできることがないか考え、自分の体験を活かして伝えていくピアサポーターになりました。  
●精神疾患を患ったことで直面した困難  
体調管理が難しいことです。薬を何種類も服薬するので、副作用から朝は起きられず、身体も重くなります。そのため、仕事が思うようにできません。中でも一番感じた困難は、周囲から病気の理解が得られないことでした。理解が得られないことで、安心してできる場所がなかったことが一番辛かったです。  
●地域にお願いしたいこと  
地域の仲間として受け入れてほしいです。障害があるからできないと決めつけず、できることを一緒に話し合いながら、自治会等の活動を一緒にできたらと思っています。  
医療、福祉、仲間や支援者、地域とのかかわりは当事者にとって大切です。私は、障害があっても地域の一員として役割をもちながら関わっていきたくて思っています。障害があるからと特別視しないで地域の一員、仲間として接してもらえると嬉しいです。

**社会福祉法人 長岡福祉協会 ワークセンターざおう**  
新町地区には、ワークセンターざおうという障害者就労支援事業所があります。障害のある人が「はたらく」ことを通じて社会参加を目指すとともに、日常生活能力の維持・向上と職場訓練及び生産活動の場を提供する事業所です。  
パンの自主製造、販売に力を入れており、アオーレ長岡の福祉のカフェりらんでも販売しています。その他、蔵王公園の清掃業務も受託しており、地域に根差した活動を行っています。

障害者福祉事業所を紹介!



**主催者の声** 新町地区福祉会 会長 木村 正夫 さん  
今までの懇談会で触れることがない内容でしたが、決して他人事ではなく、身近なことなんだと知ってほしかったためこのテーマにしました。  
今後の懇談会では、年に1回町内会長等を交えて地区で集まる場を設け、地域活動のための情報を身近なところから知るきっかけや「縁」をつくっていただけたらと思っています。



**お宝+1 利用者の生きがいと地域とのつながり**  
コロナ禍以降、外部との関わりがなくなっていた中、和島地域を巡回して行う作品展を行いました。長岡市和島支所、ゆきわり荘（長岡市社会福祉協議会和島支所）等に利用者が制作した作品を展示。そして、ホームページ上でもオンライン作品展を行い多くの人に見てもらおう機会としています。  
今年度は、和島小学校との相互開催として利用者が作った作品を小学校に展示し、夏休みの課題で作った小学生の作品を施設内に展示しました。



利用者が和島小学校で展示をしている様子

**小学校の声** 和島小学校 4年生担任 山口先生  
学校に展示されている高齢者の方々の作品を見て子どもたちは、「こんなに器用に作ってすごい!」と素直な感想をもっています。  
総合の授業を通じて、年間を通して高齢者や障害者に対して理解を深める授業を行っています。感染症対策等もあり直接顔を見ての活動ができていないのが残念ですが、これから交流の機会がつかれることを願っています。



# ともに生きる福祉のまちづくり 福祉教育の取り組み

長岡市社会福祉協議会では、学校や地域と相談し、福祉に関する講話や体験学習をともに行っています。その取り組みの一部をご紹介します。

## 中島小学校の福祉教育

### ①長岡市社会福祉センタートモシアの見学と福祉に関する講話

中島小学校3年生は、一年を通して福祉について学習しています。7月14日には、児童30人が長岡市社会福祉センタートモシアを訪れました。ほとんどの子どもたちにとって、これがトモシアへの初めての来訪。スタッフの案内のもと、館内を見て回りました。メモをとったり質問したりして、興味津々でした。見学の後は福祉に関する講話を聞きました。「福祉という言葉には、『ふだんの暮らしを幸せにする』という思いが込められている」という説明を聞いた子どもたちは、「自分にとつての『ふだんのしあわせ』ってなんだろ?」と思いをめぐらせました。「ふだんのしあわせ」を支えるものの例として車いすを紹介しました。初めに使い方と介助の仕方を聞き、交代で乗る役と押す役を体験しました。少し照れながらも、「よろしくね。」と声をかけてからそっと車いすを動かしていました。



## 国営越後丘陵公園の福祉教育

9月8日、国営越後丘陵公園から、「多様な来場者への対応力を高め、サービスの向上を図りたい」という相談を受け、職員向けに福祉に関する講話と体験を実施しました。

### ①高齢者、障害者へのサポート方法についての講話

前半の講話では、高齢者の心身の特徴と障害者へのサポートのポイントについて、「花と緑の館」内の体験学習室にてお伝えしました。「大切なのは相手がどうしてほしいかに耳を傾け、おひとりおひとりに寄り添った対応をすることです。」という内容を、皆さん真剣な面持ちで聞いていました。



#### 講話のポイント (一部抜粋)

##### ●目の不自由な方へのサポート

「こちら」「あちら」「これ」「それ」といった指示語では「どこか」「何か」が分からないため、本人の位置を中心に前後左右を説明しましょう。

##### ●身体の不自由な方へのサポート

「身体の不自由な方」といっても、その方の障害の状況によって介助方法は様々です。本人に「お手伝いしましょうか」と確認してから希望されたお手伝いをしましょう。

##### ★コミュニケーションを大切に!

「ゆっくり」「ていねいに」「繰り返し」相手の意思をしっかりと確認して必要な対応をすることがポイントです。

### ②長岡点訳の会による点字指導

9月10日には中島小学校で点字指導が行われました。トモシアを活動拠点に市の広報等を点字に翻訳するボランティア団体「長岡点訳の会」に依頼し、講師を務めていただきました。このように、社会福祉協議会が仲介してボランティア団体等に講師の派遣を依頼することも行っています。



#### 子どもたちの感想

こんなにすてきなしせつがある  
と知れてよかったです。

車いすに毎日乗っている人は  
こんなかんじなんだと知り  
ました。

車いすに乗るのはこわかったか  
ら、まちで見かけたらやさしく  
声をかけたいと思いました。

まちにある点字もさがしてみた  
いと思いました。

#### 長岡点訳の会とは?

視覚障害者への情報伝達のため、広報誌や公文書、一般の書籍を点字に直したり、小中学校で点字を指導したりしているボランティア団体です。

トモシア内の点字室を拠点に、学習会を重ねながら点訳技術の向上に取り組みんでいます。



長岡市社会福祉協議会では、学校における福祉教育の充実を図ることをねらいに、長岡市福祉協校指定事業を行っています。現在は市内すべての小・中・高等学校・特別支援学校が参加し、地域の状況に合わせて工夫された取り組みが行われています。

後半は二班に分かれ、一方は車いす乗車・介助体験、もう一方は高齢者疑似体験を実施しました。

### ②車いす乗車・介助体験

車いす体験のグループは、「入口ゲート」から「花の千畳敷」までを車いすで移動し、坂道や段差がある道での注意点を確認しました。活動後、それぞれの体験を通して得られた気付きを職員間で共有し、どなたも楽しめる場所にしたいという思いを新たにされていました。



### ③高齢者疑似体験

高齢者疑似体験のグループは、重りや関節の動きを制限するサポーター、視覚を調整するゴーグル等を装着して歩く役と、介助する役を交代で体験しました。

#### 職員の感想

思い込みで判断せず、その方がどのようなサポートを希望されているかを聞き取り、思いに寄り添った対応をしたいと思います。

受講前よりお客様の様子を気にかけて見るようになりまし  
た。これまで接客する上で心  
掛けていたことを再確認する  
よい機会になりました。

### 福祉教育・地域貢献をしたいあなたへ

学校だけでなく、企業や地域活動等に場面や目的に応じてプログラムを検討し実施しています。「こんなプログラムを行ってみたい」「企業として地域貢献したいけど、どうすればいいかわからない」という団体は長岡市社会福祉協議会へお問合せください。

## 登壇された講師の声

### ピュアは一とが親亡き後に備える勉強会について始めたきっかけ

保護者の年齢が上がるにつれ、不安の声が多く聞かれるようになったことがきっかけです。

### 会員からの声は？

定期的に学ぶことで「具体的に考え始められるようになった」、「自分ごととして捉えられるようになった」等の声が聞かれます。

### 勉強会の効果や、気づきについて

仲間と共に学ぶことで、モチベーションが格段に上がります。本人にとっての意思決定や支援を受け入れることの重要性、また、親自身の備えの必要性などについても気づくことができました。



左から丸田さん、田中さん、吉藤さん

### 心配しているご家族に対するメッセージ

「三人寄れば文殊の知恵」と言うように、同じ心配をするのであれば皆でする方が、心配の種は軽減されると思います。まずは一緒に、知ることから始めてみませんか。

### 勉強会に参加した保護者の声

#### ●勉強会に参加していかがですか？

保護者としては何から取り組むべきかわからないことが多いので、参考になります。しかし、知れば知るほど不安なことが出てきて親の心配は尽きませんが、この心配する過程が大事なことだと思っています。

#### ●備えとして取り組んでいること

遺言については早めに作成したいと思っていますが、まだ考え中です。また、勉強会で親はお金よりつながりを残すと良いと聞きました。親としてボランティア活動やNPOの会員活動に参加しつながりを作っています。



## 参考 親あるうちの備えチェックシート

### 福祉サービスの利用について

- 1 計画相談は利用していますか？
- 2 ガイドヘルパーやホームヘルパーは利用していますか？
- 3 ショートステイは利用していますか？
- 4 グループホームや入所施設は利用していますか？
- 5 ご本人は他人の支援を受け入れられますか？

### 本人の情報について

- 1 あんしんノートを作成していますか？
- 2 本人の重要な書類はまとめていますか？
- 3 本人情報を共有している家族等はいますか？

### 本人のお金について

- 1 通帳の印鑑は家族と分けていますか？
- 2 本人の生活費がどのくらいかかるか把握していますか？
- 3 本人の年金を生活費に充てていますか？

### 後見人等について

- 1 成年後見制度の利用について考えていますか？
- 2 申立人になれる人はいますか？
- 3 後見人等になれる親族はいますか？
- 4 かかりつけ医はいますか？

### その他

- 1 本人の住まいについて考えていますか？
- 2 本人の将来的な生活について考えていますか？
- 3 本人の相続について考えていますか？
- 4 親や本人の葬儀を任せられる親族はいますか？

の無いところは今後、見通しを立てられると安心です

作成：認定NPO法人つなぐ

家族や自分の今後について一度は考えるタイミングがあると思います。人生を最後まで自分らしく安心して生活していくために、自身の考えを整理する事も重要です。ぜひ、参考に活用してみたいかがでしょうか？

## 親亡き後を考える

# 未来へ手渡す、安心と希望



11/16 (日) に開催されたセミナーの様子



本人にむけた成年後見制度説明資料 (作成：認定NPO法人つなぐ)

障害のある子どもがいる家庭にとって「親亡き後」の備えは重要であり、社会的にも大きな課題と考えられます。

11月16日にトモシア文化祭内のセミナーにおいてNPO法人ピュアは一とから協力をいただき、親交のある神奈川県横浜市の認定NPO法人つなぐの資料も紹介していただきながら「親ある間にできること」を考えるセミナーを開催しました。

ピュアは一とでは今回だけではなく、会員活動として親ある間の勉強会に取組んでいるそうです。

今回、お聞きしたことを中心にポイントをご紹介します。

## NPO 法人ピュアは一と

特別な支援が必要な子どもを持つ親の会から始まり、平成24年にNPO法人として設立。県内外のNPOや関係団体とも連携しながら、活動範囲を保護者だけではなく、地域社会にも広げ障害者支援を中心に事業展開している。



## ポイント 備えのために、まずは始めてみましょう

### 1 子どもの将来プラン (思い・願い) の検討

- ・漠然としている思い、不安を書き出してみよう。
- ・書き残したものがあれば支援者が本人の様子や希望を知ることができ、本人に寄り添った支援を行うための貴重な情報元になります。
- ※セミナー内では認定NPO法人つなぐ・三人会作成の「あんしんノート」について説明がありました。

書いてみると課題が見えてくる



### 2 どのような支援体制を作っていくか

- ・お子さん本人が経験できる場を増やし、他者を受け入れることや自分で選択する体験を増やしていくことが望ましいです。
- ・将来的な住まいをイメージしながら支援者との情報共有や親の気持ちを書き残しておくことも有効です。チェックシートを使って、現状を見直してみよう。

### 3 成年後見制度の必要性を検討

- ・親族や支援者と必要性について話し合うことが大事です。
- ・全員が必ずしも成年後見制度を利用するというわけではありません。
- ・後見人はご家族の代わりではないため役割の確認も必要です。



成年後見制度についてはこちらからリンク：厚生労働省「成年後見はわかり」

### 4 相続時を考えて遺言の作成

- ・相続時には様々な手続きが発生するため、遺言があると遺産の分け方などが定まっておらずスムーズに手続きが進みます。
- ・時間と費用はかかりますが、公正証書で遺言を残すことで形式不備や紛失等のリスク対策ができます。

## トモシア文化祭を開催しました

トモシア文化祭は、平成28年11月に社会福祉センタートモシアが開設された翌年から毎年続けています。今年度は11月16日に開催し、市内で活動する団体による作品展示や舞台発表が行われました。またセミナーの他、手話や点訳、手芸の体験コーナーを設け、来場者は実際に挑戦しながら福祉や文化に触れる機会を楽しみました。さらに、近年注目を集めるe-スポーツの体験や、子どもたちに人気の縁日コーナーも登場し、世代を超えて交流が広がりました。当日は約200人が訪れ、会場は終始にぎやかで温かな雰囲気に包まれました。



作品展示



セミナー



ワークショップ



縁日

## トモシアクリスマスファミリーコンサートを開催しました

会場には約100人の来場者が集まり、子どもから大人まで幅広い世代が音楽やダンスを楽しみました。出演したのは吹奏楽、ハンドベル、歌唱、紙芝居、インド舞踊やタヒチアンダンスなど計7団体。クリスマスソングやポップスなど多彩なプログラムが披露され、観客は拍手と笑顔で応えました。ステージと客席が一体となり、温かな雰囲気に包まれたひとときとなりました。終演後には「心が温まった」「また来年も聴きたい」との声が寄せられました。



まんま〜る



ラ・ノエル



ともしあマジッククラブ

## 越後長岡ひなものがたり in トモシア

いつもと違う華やかなトモシアになります。ぜひお立ち寄りください。

- 開催期間 2月13日(金)～3月3日(火) 9:00～21:00
- 会場 長岡市社会福祉センタートモシア3階
- 内容 7段飾り、吊るし雛、手作りの雛人形などトモシア1階カフェく・る～むでは期間限定の温かいメニューを販売(営業時間 10:00～16:00)



# ボラセンだより



ボランティアセンター  
イメージキャラクター  
トモセくん

## 令和7年度 連携・協働による

# 地域づくりフォーラム

力を合わせて未来へ！スポーツが動かす地域の絆

「地域づくり×スポーツ×人材育成」をテーマに具体的な地域づくりのヒントを共有する交流の場です。

- 日時 3月11日(水)13:30～16:30
- 会場 ハイブ長岡2階 特別会議室けやき
- 定員 100人(事前申込み制) ※定員になり次第締め切り
- 参加費 無料
- 申込み 右記の二次元コードよりお申込みください。



【基調講演】『地域貢献にプロスポーツ球団ができることは何か』

株式会社新潟プロバスケットボール(新潟アルビレックスBB)  
代表取締役社長 糸満 盛人氏



糸満 盛人氏

【事例発表】『障がい者スポーツ×共生社会』

車いすバスケットチーム長岡 JETS 代表 松永 哲一氏



松永 哲一氏

【トークタイム】参加者同士による意見交換と自由な交流会

- ※発表者も一緒に参加します
- ※興味のある方はどなたでもご参加いただけます

## 令和8年度

# ボランティア大学の開講予定

### 基礎講座

- 内容 ボランティアのねらいや魅力にふれながら、高齢者理解、障害者理解、ボランティアグループの活動紹介、手話や点訳等の基礎技術を学びます。
- 期日 5月～9月の木曜日
- 会場 トモシア
- 回数 全11回
- 定員 30人
- 申込み 4月1日(水)(定員になり次第締め切ります)
- 参加費 1,000円

### 初心者講座

- 内容 障害への理解を深めるとともに、手話・点訳・音声訳・要約筆記の初歩的な知識・技能を学びます。
- 期日 10月～11月
- 会場 トモシア
- 回数 全4回～8回(各講座によって回数・期日が異なります)
- 定員 各講座10人
- 申込み 7月27日(月)～9月18日(金)
- 参加費 各講座で異なります

### 公開講座

- 内容 著名な講師による講演会です。
- 期日 7月23日(木)
- 会場 リリックホールシアター
- 定員 300人
- 申込み 4月1日(水)～
- 参加費 無料

### コミュニケーション講座

- 内容 ボランティアに必要な、聴く・伝える等、コミュニケーションスキルを学びます。
- 期日 10月14日(水)、10月21日(水)、10月28日(水)
- 会場 トモシア
- 回数 全3回
- 定員 30人
- 申込み 7月27日(月)～9月18日(金)
- 参加費 500円

この講座は、赤い羽根共同募金の助成を受け実施しています

# 情報コーナー

## 準職員募集

★詳しくはホームページをご覧ください。

- 訪問介護員（常勤準職員）**  
 ・本部事務局 介護サービス課
- 訪問介護員（パート準職員）**  
 ・本部事務局 介護サービス課
- デイサービスセンター看護職員（パート準職員）**  
 ・山古志支所
- 地域包括支援センター 看護職員（常勤準職員）**  
 ・中之島支所



## 【問い合わせ先】

長岡市社会福祉協議会 市外局番（0258）

- 本部事務局  
 長岡市社会福祉センタートモシア  
 【所在地】〒940-0071 長岡市表町2丁目2番地21  
 ※長岡駅大手口から徒歩約10分  
 E-mail: info@nagaoka-shakyo.or.jp
- 総務課 TEL 32-1442 FAX 33-6004
- 地域福祉課 TEL 33-6000 FAX 33-6004
- 権利擁護支援課 TEL 32-7833 FAX 33-6004
- ボランティアセンター（トモシア）貸室専用 TEL 94-5588 FAX 32-5210
- 介護サービス課 TEL 32-5200 FAX 32-5210
- 介護サービス課 TEL 39-2247 FAX 31-8830  
 長岡市水道町3丁目5番30号
- 中之島支所 TEL 66-0688 FAX 66-0689  
 長岡市中野中甲1666番地2 サンパルコなかのしま内
- 越路支所 TEL 94-4617 FAX 89-8257  
 長岡市来迎寺3697番地 越路総合福祉センター内
- 三島支所 TEL 42-3760 FAX 42-3761  
 長岡市上岩井1261番地1 長岡市三島支所内
- 山古志支所 TEL 41-1180 FAX 59-2081  
 長岡市山古志虫亀219番地2 山古志地域福祉センターなごみ苑内
- 小国支所 TEL 95-2027 FAX 95-2591  
 長岡市小国町新町304番地1 おぐにコミュニティセンター内
- 和島支所 TEL 74-2911 FAX 74-2912  
 長岡市小島谷3560番地1 高齢者コミュニティセンターゆきわり荘内
- 寺泊支所 TEL 75-2368 FAX 75-2945  
 長岡市寺泊金山170番地3 老人憩いの家 夕映荘内
- 栃尾支所 TEL 52-5895 FAX 53-2263  
 ・地域福祉係 長岡市中央公園1番36号 長岡市栃尾支所内  
 ・介護サービス係 長岡市上樫出3034番地  
 長岡市老人福祉センター皆楽荘内  
 TEL 53-6255 FAX 52-3361
- 与板支所 TEL 72-4714 FAX 72-4712  
 長岡市与板町本与板2380番地1 志保の里荘内
- 川口支所 TEL 89-3117 FAX 81-5020  
 長岡市西川口1168番地 高齢者生活支援ハウス川口ぬくもり荘内

## あったか雪募金 募集中！



長岡市共同募金委員会では、令和8年1月1日(木)から3月31日(火)まで、市内の自力で除排雪を行うことが困難な世帯へ除雪支援活動を行うボランティアグループ等への支援として「あったか雪募金」を実施しています。



皆さまのあたたかいご支援、ご協力をお願いいたします。

## 寄附者紹介



皆さまから心あたたまるたくさんの寄附をいただき、心から感謝申し上げます。いただきました善意は、社会福祉のために、有効に活用いたします。  
 (令和7年9月1日から令和7年12月31日まで 敬称略)

### 〈本部事務局〉

10・1	長岡めだかの学校	3,500円
10・21	明治安田生命 長岡南営業部	サウンドアーチ1台
11・4	金子 貴明	3,851円
11・7	松の会	2,362円
11・13	父弥一命日 明子	7,000円
11・17	長岡婦人水泳クラブ	7,440円
11・27	ちくちくの会（黒条）	3,000円
11・27	黒条陶芸教室	4,950円
12・1	長岡福音キリスト教会 日曜学校	5,000円
12・2	新潟いなほの会	10,000円
12・4	匿名	10,000円
12・8	真如苑 長岡支部	200,000円
12・16	長岡音声訳の会	11,731円
12・22	トーア(株) 慈善釜募金	303,173円
12・25	新潟県税理士協同組合	100,000円
12・25	ボーイスカウト長岡第1団	45,931円
12・26	匿名	1,496円

### 〈中之島支所〉

10・15	真島	3,000円
12・2	(株)JA なんかんサービス	20,000円
12・16	小根山 忠	100,000円

### 〈越路支所〉

10・16	西脇 功	50,000円
-------	------	---------

### 〈三島支所〉

12・16	三島グラウンドゴルフ協会	2,600円
-------	--------------	--------

### 〈山古志支所〉

10・28	金子 貴明	5,000円
11・13	金子 貴明	2,000円
12・11	金子 貴明	2,000円

### 〈小国支所〉

10・30	匿名	3,000円
-------	----	--------

### 〈和島支所〉

10・20	山崎 正義	5,000円
11・27	佐藤 清	15,164円
12・4	山崎 正義	5,000円

### 〈栃尾支所〉

10・9	匿名	6,204円
11・18	とちおファミリースキー場 G・G 大会実行委員会	54,038円
12・1	杵淵 修	296,401円
12・8	匿名	50,000円
12・11	匿名	1,656円

### 〈与板支所〉

11・28	匿名	5,000円
12・22	長岡友の会	15,000円

たくさんの善意をありがとうございました。今後も皆さまからの善意をお待ちしております。